

G I G Aスクール構想推進事業について

1 「G I G Aスクール構想」とは (Global and Innovation Gateway for All)

多様な子どもたちに個別最適化された学びを保障するため、1人1台端末及び高速大容量ネットワークの整備を一体的に行うことにより、小中学校等の教育現場において、ICTの活用を進める取組。

2 事業の背景・経緯

新学習指導要領（平成29年3月告示）

- ・学校において育成すべき能力
（学習の基盤となる資質・能力）

⇒

「情報モラルを含む情報活用能力の育成」

- 新学習指導要領において明記されたこと
- ・コンピュータやネットワークなど必要な環境の整備及びこれらを活用した学習活動の充実



学習活動における積極的なICTの活用

○学校教育の情報化の推進に関する法律（令和元年6月成立・公布）

- ・次代の社会を担う人材の育成に貢献するための学校教育の情報化の推進について規定



「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」・「令和元年度補正予算」（令和元年12月）

～G I G Aスクール構想の実現～

- ・校内通信ネットワークの整備（令和元年度補正予算）
校内LAN及びタブレット用電源キャビネットの整備
- ・児童生徒1人1台端末の整備（令和2年度～令和5年度）
1人1台端末（児童生徒及び教職員分）の段階的な整備

しかし

新型コロナウイルス感染症の急激な拡大

→緊急事態宣言による臨時休校



感染症や災害の発生等による緊急時の対応の必要性



「ICTの活用による全ての子どもたちへの学びの保障」



G I G Aスクール構想推進事業の前倒し・拡充（令和2年度補正予算）

- ・児童生徒1人1台端末の整備の前倒し
G I G Aスクール構想推進事業において整備予定の全ての端末を令和2年度で整備
- ・緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備
通信環境が整わない家庭に対する通信機器（モバイルWi-Fiルーター）整備の支援及び学校からの遠隔学習機能の強化のための機器（webカメラ等）整備
- ・急速な学校ICT化に対する支援
G I G Aスクールサポーターの配置

3 本町における取組

- (1) 校内通信ネットワーク（無線LAN）の整備
令和元年度補正予算で予算措置（16校分） → 令和2年度に繰り越し、工事を実施
- (2) 1人1台端末（タブレット）の整備
令和2年度補正予算で予算措置→児童生徒 3,900台、教職員 400台の計4,300台を購入
・導入する端末 → Googleの「ChromeOS」を登載する「Chromebook」
- (3) GIGAスクール構想推進体制の整備
GIGAスクールサポーターの配置
・急速な学校ICT化の支援として → ICTに関する知見を有する事業者へ委託
- (4) 緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備
・モバイルWi-Fiルーターの購入 → 通信環境が整っていない家庭への貸出用
・遠隔授業実施体制構築のための機器整備 → 各学校用にwebカメラ及びマイクを購入
- (5) 運用体制の整備や活用方法の研究に対する支援
・音更町ICT教育推進チームによる支援
→ 町校長会、町教頭会、町教育研究所、町情報担当部局、町教委等で組織し、ネットワークや端末の運用、使用のルール作りや、アプリ導入の検討などについて議論
・音更町教育研究所による支援
→ 研究所内に「ICT活用部会」を設置し、所員による授業での活用方法の研究や、その研究成果の普及、学校におけるICT機器の活用に関する研修会の開催などを実施

4 今後の課題

- (1) 学校間、教職員間における格差の解消
教職員個人のスキルの差が、学習の充実の差につながる可能性があることから、教職員のICT教育に対する意識を変えていくことが必要である。
- (2) デジタルコンテンツなどの充実
学習支援ソフトなどの導入が進んでいないため、学習でのICT活用のバリエーションが広がらず、苦慮している実情がある。
- (3) 情報リテラシー、情報モラルに関する教育の充実
学習におけるICT機器のみではなく、日常生活においても様々なICT機器を通じてインターネットやSNSなどに触れる機会が多くなっていくことから、これらの利便性のみではなく、危険性などについても認識できるような教育の充実が必要となる。

5 今後の展望

- (1) GIGAスクール構想推進事業によって進められた学校ICT化は、避けて通れないものであるが、今後の活用次第で学びの充実はもとより教職員の働き方改革にもつながっていく。
- (2) 現段階は、「紙」から「ICT」への転換の途中である。しばらくは「紙」の持つ優位性も活かしながら、「ICT」との併用での学習が継続されていく。